
多面的機能支払 メールマガジン 「農村ふるさと保全通信」 第 103 号(2021. 7. 6)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 103 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、大分県で設立当初から広域組織として地域全体で活動を実施する組織と、岩手県で農業者以外の構成員と共に活動する広域組織について紹介します。また、「失敗は成功のもと」をモットーに獣害対策など幅広く取り組む組織の代表者インタビュー記事も掲載しています。

事務局からは、「ディスカバー^む農村^ら漁村の宝アワード」へのエントリー募集のお知らせがあります。

---第 103 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆大野町みどり広域協定（大分県^{ぶんご}豊後大野市^{おおの}）☆

☆鷹生川流域広域協定（岩手県^{たごう}大船渡市^{おおふなと}）☆

2. 活動組織の代表者インタビュー

☆アクア上中（広島県^{かみなか}三原市^{みはら}）☆

3. 「ディスカバー^む農村^ら漁村の宝アワード」のエントリー募集中!

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～大野町みどり広域協定(大分県豊後大野市)～ ■

～ 地区概要 ～

大分県南部、豊後大野市北部に位置する旧大野町内で、県下有数の畑地帯並びに周辺の田を拠点に活動。活動面積は、田 30 ha、畑 321 ha。対象施設は、水路 9.8 km、農道 87.6 km。

～ 主な取組 ～

○広域組織をいかして

本組織は、平成 19 年度の事業スタート時点から 14 集落の組織によって設立した広域組織です。当初から広域組織として事務が一本化されていたことから、地域全体での活動という認識が高い組織です。面積の小さい集落では面積割による割り当て予算が少ないため、面積の小さい集落でも、多くの取組が可能になるように、集落の役員の年報酬は広域組織の全体経費で計上支出し、面積割配分額の底上げを行う等、地域全体が活発化するように、組織のしくみを都度検討してきました。高齢化・過疎化がさらに進む中、これからも畑地帯の特性を生かした組織体制を作っていきます。

○地域住民参加の農村環境保全活動

多面的機能支払交付金事業への取組み以前は、農業者による農業用施設の維持管理作業が主でした。現在は、共同活動の中で地域の人たちにも参加して貰い、少しでも興味をもってもらおうよう心がけて、シバザクラ・ひまわり・彼岸花等の植栽や、防草シートによる農作業の省力化等の活動に取り組んでいます。今後は、シバザクラ植栽を地域内でさらに広く展開し、加えて防草シートの施工も広げ、農業者の高齢化・農業者の減少の中、農作業の省力化を図っていきます。

【大野町みどり広域協定 会長 富田 高重】



農道の草刈り



水路の泥上げ作業



シバザクラ植栽の様子



農道補修の様子



ゴミ拾いの様子

■ 1. 活動組織の活動紹介（2）

たごう おおひなと
～鷹生川流域広域協定（岩手県大船渡市）～■

～地区概要～

岩手県の沿岸南部に位置する大船渡市の中央部にある地域を拠点に活動しており、3つの組織で構成される広域組織です。活動範囲は、田 58ha、畑 6ha。対象施設は、水路 16.8km、農道 5.6km、ため池 2箇所。

～主な取組～

- ◎ 当組織は、令和元年度に3つの活動組織が合併し、広域組織として発足しました。合併前は、いずれの組織でも高齢化により担い手が不足し、組織体制の強化や事務負担の軽減が課題でした。そこで、平成30年度から、広域化に向けた勉強会や、各組織の代表者間での意見交換を重ね、令和元年度に広域組織として発足しました。
- ◎ 発足後は、農業者以外の構成員も加わり、水路の保全対策や長寿命化活動、地域内の一斉清掃、児童の営農体験学習などの取組を通じて、農村環境の保全に向けた意識が高まりました。また、事務作業を分業化することで効率化が図られ、課題であった事務負担も軽減されました。
- ◎ 今後は、他の地域との交流も図りながら活動を盛り上げ、さらなる取組拡大に努めていきたいです。



地域共同での水路の泥上げ



自治会との連携による清掃活動



田植え会の状況



広域化に向けた勉強会

【鷹生川流域広域協定 会長 新沼 時】

■2. 活動組織の代表者インタビュー ～アクア上中(広島県三原市)～■

組織の概要

広島県の中央東部寄りに位置し、賀茂台地を構成する山々を有し緑豊かな自然と近隣市町への交通の利便性に恵まれています。活動範囲は、田 51.73 ha、畑 9.53 ha。対象施設は、水路 15km、農道 4km、ため池 7か所。

～ インタビュー ～

回答者：アクア上中^{かみなか}：代表 向井 哲

Q： 特に力を入れている取組はありますか？

A： 地域の特産品のレンコンを狙って冬場に出没するヌートリアの進入を防ぐための波板張り、イノシシ、シカの防護対策としてワイヤーメッシュ、電気柵、防護柵の設置・補修を行っています。年々シカが増えクマの出没も確認されるようになり、獣害対策は益々重要な取り組みになっています。

センチピードグラスやシバザクラの定植で畦畔管理に取り組む傍ら、イブキジャコウソウにもチャレンジし効果を観察しています。また、高齢化に伴い、草刈りの負担が年々大きくなることから地域に合った省力化の方法を模索しています。

Q： どんなところを工夫していますか？

A： 女性達の意見に耳を傾け積極的に提案を受け入れ協力してくれる体制※1や、気負わず生き活きと働ける環境が整っています。女性達が提案できることで取り組みの選択肢も広がり、「失敗は成功のもと」をモットーにチャレンジ精神で取り組んでいます。また、「まずはやってみよう」と、みんなで協力し前向きに進められることにやりがいを持てます。

さらに、日常的にお互い声を掛け合って参加することで、一体感が増しています。西日本豪雨災害の際もみんなが一緒だったので、気持ちを立て直すことができ、土砂撤去や土のう袋詰めなどの役割を分担し、作業を進めることができました。

加えて、年 1 回の総まとめとして「アクア上中



イノシシ柵補修



ヌートリア防護用の波板設置



芝桜植付け



イブキジャコウソウの芽摘み

だより」を発行しています。取組のわかる写真にキャプションを付け、1年を通しての感想なども添え、地域に向けても情報発信をしています。

※1：組織の役員に2名、構成員である(農) かみなか ゆうとぴあ上中には女性理事が2名在籍。

Q： 取り組むに当たって苦労したことは何ですか？

A： 軌道に乗るまでに時間を要しました。活動内容が分かる写真を撮るように周知徹底し、各自理解していたにも関わらず、活動に集中し写真撮影を忘れてしまい、書類整理に時間を要しました。事務処理については効率的に行えるよう作業日報のデータ管理を工夫し、一度の確認で済むように試行錯誤を繰り返しました。

Q： 今後取り組みたいことや今後の展望を教えてください。

A： 事務の後継者を育てていきたいです。事務作業は経験により工夫して効率化を図れるようになります。自分たちが積み重ねながら理解してきたことを一緒に学んでもらいたいと考えています。

また、法人を中心に本事業に取り組む過程で女性たちの集まる機会が増え、この活動を礎に何かできることがないかと話し合うようになりました。地域の特産である「レンコン」を使ったレンコンチップスや惣菜の加工販売で地域活性の一端を担えたらとの思いから六次産業への着手を計画し、加工場の準備を3年前から進めています。



アグリシート張り（草刈りの労力軽減）



土砂撤去（災害時）



土のう袋詰め（災害時）

かみなか
【アクア上中：代表 向井 哲】

■ 3. 「ディスカバー農山漁村の宝アワード」のエントリー募集中！ ■

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、農山漁村の活性化に取り組む優良事例を選定・表彰し、全国に発信する取組で、これまで多面的機能支払の活動も選ばれています。

本年度の応募期間は、6月16日（水）～8月31日（火）です。応募締切り後の10月頃に選定結果が発表され、選定された地区（者）は、選定証授与等の式典に招待されます。令和元年度に総理官邸で行われた式典等の様子は、こちらで御覧いただけます。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からWeb配信によるオンライン形式にて授与式を実施しました。

→https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201912/O3mura.html

募集は、団体向けの「団体部門」、個人向けの「個人部門」の2部門があり、部門ごとに選定を行います。昨年度の第7回選定では、環境保全や農村文化の伝承活動など多面的機能支払交付金の活動も選定されています。応募にあたっては、団体部門と個人部門の重複応募も可能ですので、活動組織としてのご応募だけでなく、皆様の組織で活躍されている個人としてのご応募もお待ちしています。

▽応募期間▽

令和3年8月31日（火）まで

▽詳細・応募方法▽

ディスカバー農山漁村の宝特設ウェブサイト

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

【農林水産省 都市農村交流課】

デイスカバー
農山漁村の宝 AWARD
～第8回選定～



エントリー募集

募集期間:2021年6月16日(水)～8月31日(火)



農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて地域への横展開を図っています。選定された地区及び者に対しては、選定証の授与を行います。また、「デイスカバー農山漁村の宝」特設 Web サイト等で活動を紹介するほか、イベントへの出展支援を通じて全国的な情報発信を行います。

お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 活性化推進班
〒100-8950 東京都千代田区豊が関 1-2-1 電話(直通): 03-3502-5946 ファックス: 03-3595-6340

「デイスカバー農山漁村の宝」
ホームページ ▶ <https://www.discovermuranotakara.com>



■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。梅雨入りし、じめじめする日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

今回のメールマガジンでは、事務局から「ディスカバー農山漁村の宝アワード」の募集をお知らせしました。昨年の第7回選定では、愛知県安城市で多面的機能支払交付金に取り組む、えのきまえ「榎前環境保全会」の皆さんが、環境保全活動や高齢者の活躍という観点で優良事例として選定・表彰されました。地域での共同活動に取り組む活動組織のみなさん、ぜひ応募をご検討ください！

突然ですが、最近共同作業時の事故が多発しております。よく草刈りをしている祖父が心配になり電話をしてみると、「刈り払い機などの機械を使用する際、『これくらい大丈夫だろう』という油断が大きなケガにつながってしまう」と話していました。

雨が降った後の法面はとても滑りやすくなりますし、暑い中での作業は熱中症の症状で意識がもうろうとすることもあると思います。共同活動で草刈りなどを実施されている皆さんには、危険箇所の確認・周知を行うと共に、体調に異変を感じたら無理をせず休憩を取りながら活動を行って頂きたいと思います。

農林水産省 HP には、「安全のしおり」を掲載しています。下記の URL からご覧になれますので、ぜひお読み頂き、安全確認を徹底し、共同活動に携わるみなさんが事故や怪我なく活動を続けられますよう、お願いいたします。

【農水省 HP 掲載「多面的機能支払交付金共同活動の安全のしおり」】

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-60.pdf

いつも本メールマガジンを読んで頂き、ありがとうございます。それでは、また次号もお楽しみに！

(え)

-

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇
https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからの QR コードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>



高めよう 地域協働の力！

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤原、小貫）

TEL：03-3502-8111（内線 5493）
